

高鷲の文化財

令和 2 年 12 月 8 日

高鷲文化財保護協会

N O 39

懐かしい昭和時代の生活！

古老からの聞き取り・第 2 回

日時：令和 2 年 11 月 24 日

場所：高鷲町民センター会議室

古老の紹介：麦島博昭 氏、山川清至 氏、仲谷常夫 氏

司会進行：上村篤彦 氏

参加者：中屋保則 氏、水上清栄 氏、上村 強 氏、馬淵旻修 氏



会長挨拶：コロナ禍の中、ご参加くださりましてありがとうございます。本日のテーマは「高鷲の災害」について経験されたことや記憶にあることをお話ししていただければ幸いです。なお、配布しました別紙資料は、高鷲村史から抜粋した高鷲の災害関係の記事です。参考になればと思い作成しました。

司会者：高鷲の災害以外でもなんでも結構です、自由にお話になってください。

古老：伊勢湾台風の時私は土木課長で、その後の砂防工事など復旧工事に県と交渉をし、立派なものができる。

：その後第 2 室戸台風、三八豪雪があり、五六豪雪の時には自衛隊を要請し、学校や公共施設の除雪をお願いした。

：その後 3 年間は連続災害があった。

：昭和 34 年の時私は村会議員になりまた昭和 34 年という年は大変な年で、村長選があり、自衛隊問題があつて村を 2 分した年でもあった。

：親から聞いた話では、明治 26 年の大災害では村内の橋や堤防が大崩壊し、その後伊勢の石工によってきれいに修復された。

：昭和 9 年の室戸台風後、清水実文村長が牛を飼うことを進めら、鷲ヶ岳を放牧場とした。

：奥美濃地震の時、ひるがの台地が揺れるようであった。

：穴洞の火事については「創立 25 周年記念誌」に S N 氏が書いている。

：正ヶ洞の火事については K S さんの「おりと正ヶ洞」に載っている。

- : Y K氏は正ヶ洞火災の時活躍され当時の松野知事から表彰を受ける。
.....
- : 湯平の名前のいわれ。(昔白い煙が出ていたから)
- : 八百僧谷川に関する、滑岩や岩つつじ、算盤石の話があった。
- : 血とり場(牛馬に蹄鉄を付けるなど足の手入れをした場所)で昭和 10 年ごろ省営バスが走り出すとなくなった。向鷲見にもあった。
.....
- : そのほか現在の人口問題、スキー場問題、文化財保護の問題が取り上げられた。

古老からの聞き取り・第 3 回

日時：令和 2 年 12 月 4 日
場所：高鷲町民センター会議室

古老の紹介：三島道雄 氏、寺田涼三 氏、清水あや子 氏

司会進行：水上清榮 氏

参加者：上村 強 氏、川尻 齊 氏、馬淵旻修 氏



司会者：最初は川尻さんから鮎走の資料について説明をいただき、その後ご参加の皆さんから高鷲の昔のことについて自由にお話ししていただきます。

古老の話：井田橋の所には飛び石があり、板が懸けてあった。

- ・大井田の所には魚がいっぱいいて、魚はウグイだと思ふ。昔カブといった魚もいっぱい捕った。
- ・正ヶ洞の所にも飛び石があり、往明寺の下にもあった。またそこを白川街道が通り、口番所もあった。
.....

- ・しし垣について：富田新田には石垣（しし垣）が多くあった。
.....
- ・力石が高須には多くあり、大学の先生も調べに来た。力石を盤石といい、肩の所で回した。また、お手玉石とも言い、「たかす開拓記念館」にある。
.....
- ・盆踊りについて：拝殿踊りとは言わず、何々宮の踊りといった。また、「ばしょ踊り」は歌の名前で、歌ったことはない。
- ・村同士の喧嘩が多かった。
- ・中切では秋葉神社のまつりで踊った。
- ・鷲見は女性が活発でよく踊った。
- ・踊りがさかんな時は盆(8月)、農休み(7月)、祭り(10月)の3回を楽しく踊った。
.....
- ・稗飯とオロ飯の話
- ・報恩講はたかたか飯といい、白い飯を一杯食えた。
- ・私の家は朝鮮ビエをつくり、弁当にもっていったが、先生はサツマイモ 1 つであった。
- ・小学校を卒業すると方向に出るとか、人減らしのようなことはなかった。
- ・魚は身欠きにしんしか食べなかった。
- ・ケイチャンが昔からあった。昭和 40 年代 S H さんの所が初代だ。そこは、最初はとんちゃん(モツ)をやっていた。
.....
- ・今のようにコロナ禍で閉塞感があるときに、村おこし、街おこしをしなくてはいけない。

司会者：時間が来ましたので本日はこれでお開きとしますが、次回は来年度になってからまた古いお話を伺いたいと思いますのでよろしくお願ひします。本日はご苦勞様でした、ありがとうございました。